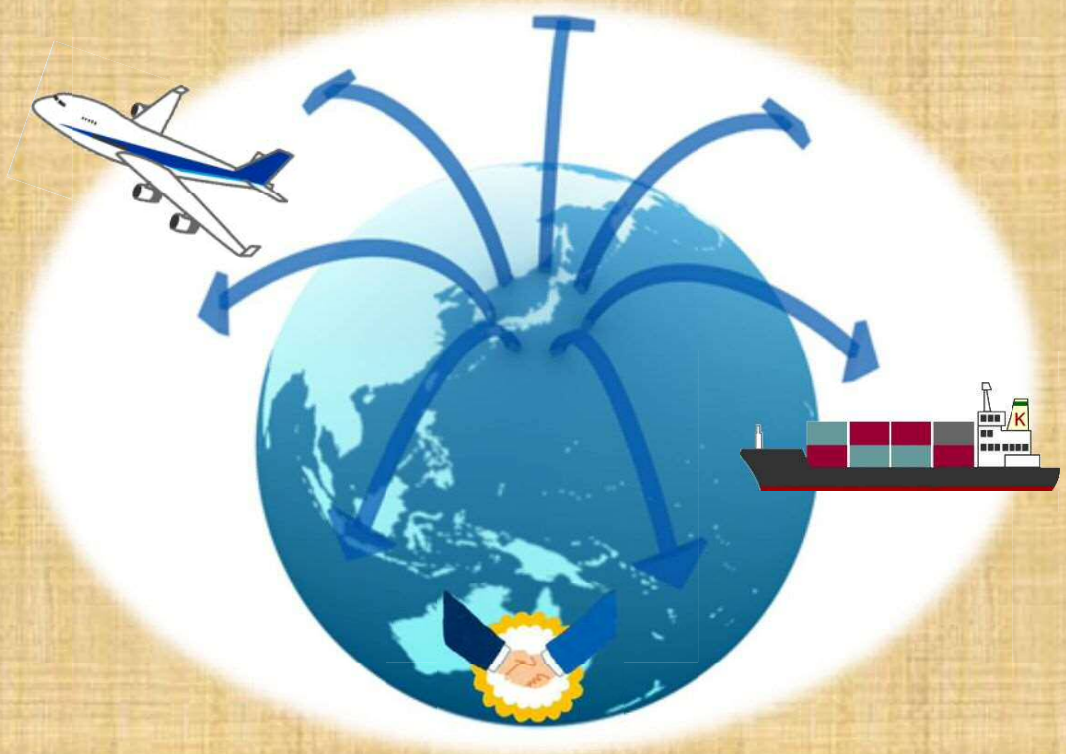
2017. 3

貿易ニュース鹿児島

Kagoshima Trade News



Contents

海外レポート（シンガポール）…… １
Information…… ６
混載貨物輸出業者育成事業について…… ９
鹿児島空港航空貨物利用促進事業のご案内……１０
鹿児島県・鹿児島市助成金のご案内……１１
外国貿易コンテナ（薩摩川内・鹿児島・志布志）……１５
ライブラリー新着図書資料情報 ……２１
鹿児島税関支署管内貿易情報（１月分） …… ２３
貿易相談のご案内……３６
新規入会会員募集のご案内……３７
通訳・翻訳/メーリングリストのご案内…… ３８

東南アジアのハラール事情

一般財団法人自治体国際化協会（クレア）
シンガポール事務所　所長補佐　弓指昭子

日本ではフードコートで食事をした後に、買った店舗に食器を自分で返却するのが常識だと思いますが、シンガポールでは、食器を席に置いたまま立ち去るのが常識です。食器はフードコートのスタッフが回収をします。

その理由の一つに、ハラール用とノンハラール用の食器を分別して回収する必要があるため、というものがあります。シンガポールでは中華系、マレー系、インド系など様々な民族の人が住んでおり、仏教、イスラム教、ヒンズー教など宗教も多岐に渡るため街中でも宗教に対した配慮がなされています。

今回は、日本ではまだ馴染みの浅いハラール事情についてご紹介します。

１　東南アジアのハラール市場

世界のムスリム（イスラム教徒）人口は 2010 年には 16 億人でしたが、2030 年には 22 億人となり、全世界で 26.4%の人口がムスリムとなることが予想されています。

また、人口の拡大に伴い市場規模も拡大しています。2013 年のムスリムの消費者による食品・飲料市場規模は 1 兆 2,920 億ドルと日本の約 3 倍の市場規模となっており、その５分の１を東南アジアが占めていることからも、東南アジアの市場がいかに大きいかが分かります。

また、東南アジアからの訪日旅行客は着実に増加しており、その中でもムスリム人口の多いインドネシアやマレーシアの 2010 年と 2016 年の訪日旅行者数を比較すると 3 倍以上の伸び率となるなど、今後日本国内でもハラールに関するニーズが高まってくることが予想されます。

訪日旅行者数の伸び率

	2010年 訪日旅行者数（万人）	2016年 訪日旅行者数（万人）	伸率 2010-2016（%）
中国	141.29	637.30	451.06%
韓国	243.98	509.03	208.64%
台湾	126.83	416.74	328.58%
香港	50.87	183.92	361.55%
アメリカ	72.72	124.27	170.89%
タイ	21.49	90.14	419.45%
マレーシア	11.45	39.42	344.28%
シンガポール	18.10	36.18	199.89%
フィリピン	7.74	34.78	449.35%
インドネシア	8.06	27.10	336.23%
ベトナム	4.19	23.38	558.00%
インド	6.68	12.30	184.13%
合計	861.1	2,403.90	279.17%

＜出典＞JNTO 2017年報道発表資料　※2016年は推計値

２　ハラールの定義とハラール認証について

（1）　ハラールとは

神の言葉が記されたコーランを合理的に解釈し法的に体系化したものをイスラム法とい

いますが、この中で対象物の基準としてハラール（許される物）とハラーム（禁じられる物）、シュブハ（疑わしい物）が示されており、禁じられる物の例として主に以下のものがあります。

① 豚、犬
② ハラールな方法で屠畜されていない肉
③ 淡水生物/両生類
④ 長く鋭い歯や爪を持つ動物（虎、熊、象、猫、猿など）
⑤ 鉤爪のある鳥、捕食鳥（鷲、ふくろうなど）
⑥ 病原菌を運ぶ動物や毒を持つ動物（ネズミなど）
⑦ 嫌悪感を起こさせる動物
⑧ 蜂、血、酒

断食や礼拝など信仰の実践が重視されるイスラム教の中で、「ハラールの食品のみを口にする」ことは神の教えに忠実に従う「信仰」を表す行為であり、単なる食習慣や好き嫌いとは異なるため、その考え方を理解することが必要です。

（2） ハラール認証とは

「ハラール認証」とは、各国または各国内の主なイスラム団体が定めたハラールに係る食品・医療品・化粧品等の認証制度であり、基準や制度、認証の位置づけは国によって異なります。そのため、日本から東南アジアでハラール認証を取得して販売するためには、それぞれの国の認証団体や、それらに公認された日本国内の認証団体から認証を取得し、その国のマーケットでの取り扱いにも対応する必要があります。

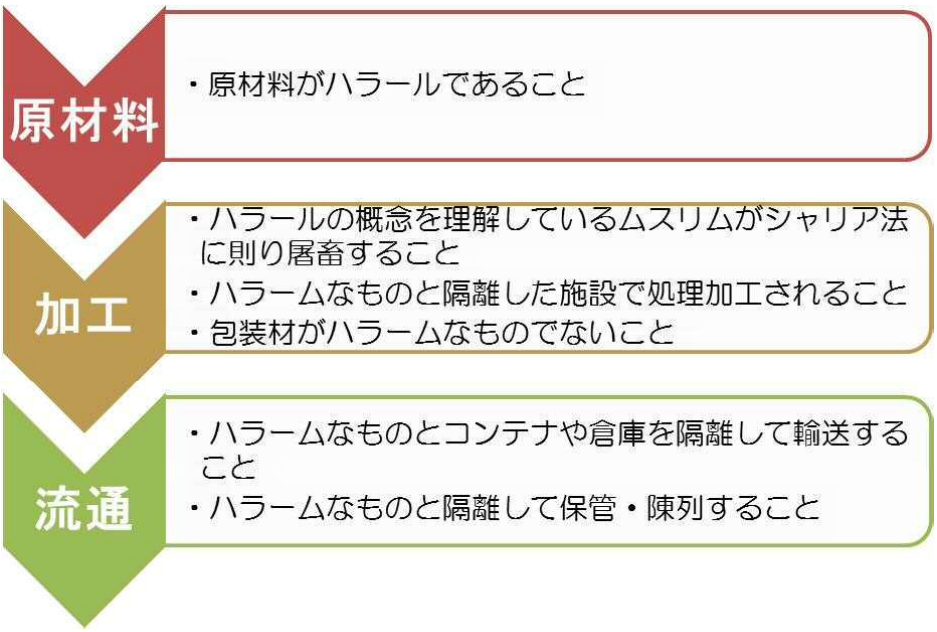
また、ハラールの適応範囲として、原材料（飼育する際の飼料など）から体に入るまで、全てのプロセスでハラールであることが求められています。

マレーシアおよびシンガポールのハラール関連制度の概要　（2016年２月現在）

	マレーシア	シンガポール
認証機関、国外の機関や施設の認可を行う機関	マレーシア・イスラム開発庁（JAKIM）	シンガポール・イスラーム評議会（MUIS）
認証有効期限	２年	１年または２年 または MUIS に定められた期間
在外企業による申請	JAKIM に公認された機関・団体で認証を取得	① WAREES に申請、あるいは ② MUIS が公認する日本の認証機関に申請
日本の公認団体	宗教法人日本ムスリム協会 NPO 法人日本ハラール協会	宗教法人日本ムスリム協会 NPO 法人日本ハラール協会 NPO 法人日本アジアハラール協会

〈出典〉JETRO　主要国におけるハラール関連制度・市場動向～農林水産物・食品の輸出に向けて～

ハラールの適応範囲の例



３　日本国内の認証機関について

各国の認証機関から公認を受けている団体と、ハラール認証発行製品の輸出実績の有無をまとめたものが下の表です。

日本国内には数多くのハラール認証団体が見受けられますが、輸出国先に正式に認められた機関で認証を受けなければ消費者の不信感を買うことになりますので注意が必要です。

	マレーシア		シンガポール	
	公認	輸出実績	公認	輸出実績
宗教法人日本ムスリム協会	JAKIM が公認機関として公表	緑茶の輸出実績あり	協会談：MUIS は公認機関非公表	協会として未確認
NPO 法人日本ハラール協会	JAKIM が公認機関として公表	非公表	協会談：MUIS は公認機関非公表	非公表
NPO 法人日本アジアハラール協会	△	NA	協会談：MUIS は公認機関非公表	非公表

※ ○：公認 or 輸出実績あり　△：申請中 or 検討中

〈出典〉デロイト・トーマツ「平成 25 年度輸出拡大推進委託事業のうち国別ティング事業（ハラール食品輸出モデルの策定事業）最終報告書」

４　ハラール国際展示会及び物流

マレーシアでは、年に１回、マレーシア貿易開発公社（MATRADE）が主催する世界最大級のハラール国際展示会「MIHAS」が開催されています。

2016 年には 22,027 人が来場し、食品・飲料、化粧品のほか、イスラム金融による銀行やハラルロジスティックスを掲げる物流企業を含む 543 社が出展しました。同イベントには日本パビリオンも設置され、日本ハラール協会によると、醤油、味噌、乳製品などの食品メーカーや物流企業、DNA 検査キットを取り扱う企業など 11 の日本企業が集まり、食材の使い方や和食について説明するライブクッキングも催されました。

また、マレーシア日通では、2014 年にマレーシアイスラム開発局（以下、JAKIM）からマレーシア国内でのハラール輸送認証を取得するなど、ハラール物流の取組みを行っています。

５　おわりに

以上のとおり、ハラール食品の輸出には、認証取得に関する情報が不足している、条件が厳しい、費用面での負担が大きいなど課題が多くあります。日本国内の市場の拡大が困難になっていく先行きにあって、世界の中でも存在感の大きいハラール市場への参入を検討することは、今後海外展開の上で重要な選択肢の一つとなると言えるでしょう。

【参考文献・引用文献】

・農林水産省「ハラール食品輸出に向けた『手引き』」
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_kikaku/pdf/halal_tebiki.pdf
・日本貿易振興機構（JETRO）「主要国におけるハラール関連制度・市場動向～農林水産物・食品の輸出に向けて～」
https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/02/2016/bdf7fdcc48b9a4a7/halal2015.pdf
・日本貿易振興機構（JETRO）「ハラールとハラール認証について」
http://www.maff.go.jp/kinki/seisan/nousan/yusyutu/pdf/jetro.pdf

・デロイト・トーマツ「平成 25 年度輸出拡大推進委託事業のうち国別ティング事業（ハラール食品輸出モデルの策定事業）最終報告書」
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_kikaku/pdf/all.pdf
・ブランド総合研究所「拡大するハラル市場と現状～ハラルマーケットの基礎～」
http://www.maff.go.jp/tohoku/kihon/yusyutu/kyougikai/pdf/tanaka-siryou.pdf
・一般財団法人自治体国際化協会「自治体国際化フォーラム」2016 年９月号
・Halal Industry Development Corporation「ハラル産業に対する理解」

【Information】

「平成29年度海外ビジネス戦略推進支援事業」の公募について

「海外ビジネス戦略推進支援事業」では、海外市場に活路を見出そうとする中小企業・小規模事業者の海外展開に向けた戦略策定や販路開拓につなげるため、F/S（事業可能性調査）支援や、外国語Webサイト作成支援を実施します。

【公募期間】2月28日（火）～4月28日（金）17時必着
【支援内容】
本事業は、海外市場に活路を見出そうとする中小企業者に対して、中小機構が、国際化支援アドバザー等を中心に専門家チームを組成し、海外展開事業計画の策定支援、F/S（実現事業可能性調査）支援、外国語Webサイト作成支援を行うものです。
中小企業者は、下記（1）に加え、（2）の①または②1.～3.の支援のいずれか1つのメニューを選択することができます。
（1）海外展開事業計画策定支援【必須】
（2）現地調査等支援　①現地調査等支援（投資型）
②現地調査等支援（輸出型）　1.海外現地同行調査支援【任意選択】
2.マーケティング調査支援【任意選択】
3.外国語Webサイト作成支援【任意選択】

■詳細は、中小機構のホームページをご確認ください。
http://www.smrj.go.jp/keiei/kokusai/fs/069550.html

お問い合わせ　中小機構九州本部 経営支援部 国際化支援課
電話：092-263-1535

「マレーシアにおけるビジネス機会」セミナー（大阪・東京）開催のご案内

国際機関日本アセアンセンターは、マレーシア国際通商産業省（MITI）、マレーシア投資開発庁（MIDA）、マレーシア貿易開発公社(MATRADE)、他団体と共に「マレーシアにおけるビジネス機会」セミナーを開催いたします。
本セミナーでは、マレーシア国際通商産業省大臣　ダトゥ　セリ　ムスタパ モハメドがマレーシア経済の現状と将来展望、貿易投資に関する最新政策、製造業や関連サービス産業における投資環境などについて講演いたします。
さらに、本セミナーでは、日本貿易振興機構のクアラルンプール事務所長にご講演いただくと共に、マレーシアで製造業を行なっている日系企業をゲストにお招きし、マレーシアでの事業設置と運営に関してご経験をお話しいただきます。質疑応答の時間も設けていますので、是非このセミナーをマレーシアの貿易と投資に関する情報取集の場としてご活用ください。
なお、具体的な事業をお考えの方には、マレーシア代表団メンバーとの個別ビジネス相談会を予定しております。ご希望の方はお申込みください。

【日　時】4月10日（月）
セミナー 13：30～15：30（受付開始 12：45）
個別ビジネス商談会 15：45～17：45
【会　場】ホテルニューオータニ大阪　2F 鳳凰の間（大阪市中央区城見1-4-1）
【定　員】350名
【主　催】マレーシア国際通商産業省 (MITI)、マレーシア投資開発庁 (MIDA)、マレーシア貿易開発公社(MATRADE)【通　訳】日英同時通訳
【参加費】無料
【申込締切】3月29日（水）
※プログラムの詳細等　http://www.asean.or.jp/ja/invest-info/eventinfo-2017-01/

お問い合わせ　マレーシア投資開発庁大阪事務所　（担当）関口・田中
Tel: 06-6451-6661　　Fax: 06-6451-6626
E-mail: osaka@mida.gov.my

【Information】

見本市情報

～国内開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
4月5日（水）～ 4月7日（金） 東京ビッグサイト	Photonix 2017 －フォトニクス [第17回 光・レーザー技術展] 【光学、光工学、レーザー技術・機器】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/Photonix2017_52901
4月5日（水）～ 4月7日（金） 東京ビッグサイト	ファッション ワールド 東京 2017【春】 【皮革、履物、繊維・衣料、アクセサリー】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/FASHIONWORLD_54004
4月12日（水）～ 4月14日（金） ポートメッセなごや	第2回 名古屋 ものづくり ワールド 【金属製品、金属加工、精密・測定機器、製造・生産技術】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/2ndManufacturing_52825
4月12日（水）～ 4月14日（金） 東京ビッグサイト	第20回 ファベックス2017 【食料、食品加工、店舗用設備・機器、ディスプレイ、包装】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/FABEX_53434
4月12日（水）～ 4月15日（土） 東京ビッグサイト	INTERMOLD 2017（第28回金型加工技術展） / 金型展2017 【工作機械、金属加工、産業用設備、精密・測定機器】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/INTERMOLD2017_53042

【Information】

見本市情報

～海外開催見本市～

開催期間	見本市名	URL
5月4日（木）～ 5月10日（水） ドイツ / デュッセルドルフ	interpack 2017 【包装、産業用機器・設備】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/interpack2017_43916
5月7日（日）～ 5月9日（火） アラブ首長国連邦 / ドバイ	Automechanika Dubai 2017 【自動車（部品）、自動車補修・サービス用品】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/AutomechanikaDubai_54039
5月8日（月）～ 5月11日（木） 中国 / 香港	HOFEX 2017 【食・飲料、農林水産物、ホテル、ケータリング】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/HOFEX2017_49908
5月9日（火）～ 5月12日（金） ドイツ / ミュンヘン	transport logistic 2017 【鉄道、その他の輸送用機器、交通、物流、通信】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/transportlogistic_48533
5月6日（土）～ 5月9日（火） イラン / テヘラン	Iran Oil Show 2017 【鉱業、エネルギー、化学】	https://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/IranOil_53114

混載貨物輸出業者育成事業について

公益社団法人鹿児島県貿易協会では，鹿児島県の委託を受け，食品輸出の振興及び県内外貿港の利用促進を目的とする「混載貨物輸出業者育成事業」を実施しています。

助成制度の活用をご希望の方は，協会ホームページ（下記参照）より申請書等をダウンロードし，事務局までお申込ください。（http://www.kibc-jp.com/index.htm）

なお，平成 28 年 12 月 1 日の輸出分から，コンテナ内の県産品の重量比率により，補助率が変動していますので，ご留意ください。

【助成対象者】

① 鹿児島県内外貿港からの輸出であること。

② 製造者又は生産者が異なる県産品（本県で収穫，生産又は製造された食品衛生法第４条に規定する食品）を海上コンテナに混載し，輸出すること。

③ 毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までに実施された輸出であること。

【助成内容】

県産品が占める割合(※)	20 フィートコンテナ	40 フィートコンテナ
75％以上	120,000 円	200,000 円
50％以上 75％未満	90,000 円	150,000 円
25％以上 50％未満	60,000 円	100,000 円
25％未満	30,000 円	50,000 円

※県産品が占める割合については，コンテナ内における GROSS WEIGHT（梱包材を含めた総重量）にて計算

《お問合せ先》公益社団法人鹿児島県貿易協会　担当：肥後/谷口
〒890-8577　鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号（県庁 9 階かごしまＰＲ課内）
TEL：099-251-8484　FAX：099-251-8483　E－mail：info@kibc－jp.com

鹿児島空港航空貨物利用促進事業のご案内

公益社団法人鹿児島県貿易協会では，鹿児島空港国際化促進協議会の委託を受け，鹿児島空港の国際定期路線の安定的運行と国際空港貨物の需要拡大を目的とする「鹿児島空港航空貨物利用促進事業」を実施します。

この事業は，鹿児島空港貨物ビル航空会社棟（南国交通(株)上屋内）に設置された冷蔵冷凍施設を利用して，鹿児島県産品等（本県で収穫，生産又は製造された食品衛生法第 4 条に規定する食品）を輸出する荷主に交付するものです。

助成制度の活用をご希望の方は、協会ホームページ（下記参照）より申請書等をダウンロードし、事務局までお申込ください。

http://www.kibc-jp.com/index.htm

【助成の条件】

①鹿児島空港からの輸出であること。

②鹿児島空港貨物ビル航空会社棟（南国交通(株)上屋内）に設置された冷蔵冷凍施設を利用した輸出であること。

③本県で生産または製造された食品衛生法第 4 条に規定する食品の輸出であること。

④平成2 8 年 4 月 1 日から平成2 9 年 3 月 31 日までに実施された輸出であること。

【助成金の額等】

項　目	助成額
鹿児島空港貨物ビル航空会社棟（南国交通(株)上屋内）に設置された冷蔵冷凍施設使用料　※1	1 kg当たり 100 円
鹿児島空港貨物ビル航空会社棟（南国交通(株)上屋内）までの陸送費　※2	陸送費に係る経費の1 ／2 上限額 30,000 円

※1 貨物上屋施設利用料のうち，基本料及び冷蔵冷凍庫施設使用料に対し，助成する。

※2 冷蔵冷凍施設使用料の助成を受ける場合に，冷蔵冷凍施設までの陸送費等に係る経費に対し助成

※3 助成金の交付は，交付申請の受付順とし，予算の範囲内で行うものとする。

【助成までの流れ】

①事業完了の日から 30 日以内に交付申請書（第 1 号様式）に下記の書類を添えて協会に提出する。

(1) 実績報告書(第 2 号様式)

(2) 航空貨物輸送状(AWB)の写し

(3) 輸出品の納品書又は産地及び種別(食品・非食品の別)が記載された書類

(4) 経費の内訳の記載された請求書又は領収書の写し

(5) その他協会が必要と認める書類

②交付申請書の内容を審査後，協会より助成金交付決定通知書を交付。

③交付確定通知書を受領後，助成金交付請求書（4 号様式）を協会に提出する。

④助成金の交付。

《お問合せ先》公益社団法人鹿児島県貿易協会　担当：橋口/谷口

〒890-8577　鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号（県庁9 階かごしま PR 課内）

TEL：099-251-8484　FAX：099-251-8483

E－mail：info@kibc－jp.com

鹿児島県助成金案内
団体ツアー助成事業（平成２８年度）

１　趣　旨

鹿児島空港発着の国際定期路線等を利用して研修・視察や国際交流のため海外渡航する６人以上の団体・グループに対して渡航経費（国際定期路線等の航空運賃）の一部を助成する。

２　要　件

次の要件をすべて満たした場合，助成対象とする。

①　鹿児島空港発着の国際定期路線の利用。
　＊これらを経由してさらに海外へ渡航する場合や片道利用を含む。

②　国内に居住する構成員（添乗員として参加する旅行社又は航空会社の社員を除く。）による６人以上の団体・グループ。

③　渡航先での研修・視察又は現地の団体・グループとの交流を行うこと。

３　助成金

団体・規模		助成金額	
		鹿児島空港発着国際定期路線のみ利用する場合	**国際定期路線に加え，乗り継ぎ便を利用する場合**
一般団体	6～ 9人	1万5,000円	**３万円**
	10～19人	３万円	**６万円**
	20～29人	６万円	**１２万円**
	30人以上	９万円	**１８万円**
修学旅行		5,000円×人数 （助成限度なし）	**10,000円×人数 （助成限度なし）**

※片道利用の場合は半額助成
※予算がなくなり次第，事業終了

《お問い合わせ先》
「鹿児島空港国際化促進協議会」事務局
TEL:099-286-2457　FAX：099-286-5533

鹿児島県助成金案内
海外ビジネスツアー助成事業（平成２８年度）

1　趣 旨

海外ビジネス展開等を目的に，国際定期路線等を利用して渡航先で開催される展示会や商談会等に参加する方を対象に対して渡航経費の一部を助成する。

2　要 件

次の要件をすべて満たした場合，助成対象とする。

①　海外ビジネス展開等を目的に渡航するものであること。

②　鹿児島空港発着の国際定期路線等の利用。

＊これらを経由してさらに海外へ渡航する場合や片道利用も含む。

③　次のいずれかの目的で渡航すること

ア　渡航先で開催される展示会又は商談会への参加

イ　ＪＥＴＲＯ，金融機関など海外ビジネスを支援する機関等を通じて選定した個別企業等との商談

3　助成金

人数	助　成　金　額	
	鹿児島空港発着国際定期路線のみ利用する場合	**国際定期路線に加え，乗り継ぎ便を利用する場合**
１人	１万円	**１．５万円**
３人以上	３万円	**４．５万円**

※片道利用の場合は半額助成

※予算がなくなり次第，事業終了

《お問い合わせ先》
「鹿児島空港国際化促進協議会」事務局
TEL:099-286-2457　FAX：099-286-5533

鹿児島市輸出チャレンジ支援事業
補助金交付申請要項（平成２８年度）

市内の中小企業者等が、販路を拡大するため、海外で開催される合同展示会等に出展する経費等の一部を助成します。

本年度は、さらに活用しやすい制度とするため、補助対象事業の要件緩和を図るとともに、補助金額と対象期間を見直しました。

１　補助対象者

納期が到来している市税を完納している、本市に主たる事業所を有する中小企業者等

（1）中小企業者等とは、中小企業基本法第２条第１項各号のいずれかに該当する者で、個人事業主も含みます。また、事業協同組合、企業組合及び商工組合など、中小企業者で構成する団体等も対象とします。

（2）暴力団又は暴力団員、もしくは暴力団に関与している事業者等は申請できません。

２　補助対象事業

国、県、その他国内の公的機関・団体（日本貿易振興機構、（公社）鹿児島県貿易協会等）、金融機関又は開催国の公的機関の主催、共催又は後援により、海外で開催される展示会、見本市及び商談会並びにミッション等（以下「展示会等」という。）へ出展又は参加するもの。

⑴　申請の時点で、展示会等に出展又は参加することが、決定又は決定見込みであること

⑵　平成２９年３月末日までに事業が完了すること

３　補助対象経費

対象事業を実施するために必要な経費。

⑴注）補助金の**交付決定通知日以降**に支出した経費が対象

補助対象経費	主な内容
（1）出展料	展示会等への出展に係る経費
（2）渡航費	展示会等への移動に係る経費
（3）宿泊費	展示会等開催期間中の宿泊費、ただし、日程の関係で、前泊若しくは後泊となるものは対象。
（4）広告宣伝費	パンフレットやポスター等販促資材の作製経費
（5）通訳費及び翻訳費	通訳や販促資材の翻訳に係る経費
（6）出展製品等の輸送費	出展製品等の配送に係る経費
（7）その他の経費	その他市長が認める経費

ただし、次に掲げるものは、補助対象経費に含まれません。

⑴ア）飲食に係る経費

⑴イ）財産形成につながる経費

（電気ポット、パンフレットスタンドなど）

⑴ウ）展示会等において試食用に提供する商品や景品等の購入経費

4　補助金の額及び上限額

⑴ 補助金の額　：　補助対象経費の２分の１以内の額

⑵ 上　限　額　：　１～３年度目２０万円、４～５年度目１０万円

5　申請方法

⑴から⑷の書類に必要事項を記入の上、押印し、⑸から⑽の資料を添えて、持参又は郵送により、展示会等へ出展又は参加する２週間前までに提出してください。

申請は随時受付け、補助金の交付予定額の累計が、予算額に達した時点で受付を終了します。

⑴　補助金等交付申請書

⑵　輸出チャレンジ支援事業実施計画書、及び事業収支予算書

⑶　暴力団排除に関する誓約・同意書

⑷　鹿児島市税納付状況確認に関する同意書（別紙）又は「滞納がないことの証明書」

⑸　出展品等の概要がわかるもの（商品パンフレットなど）

⑹　展示会等の概要がわかるもの（出展案内、展示会等パンフレットなど）

⑺　展示会等に出展又は参加することが確認できる書類

⑻　出展等に必要な経費の見積書等（⑵の事業収支予算書に記載した経費全て）

⑼　会社概要又は会社案内

⑽ 商業登記簿謄本（登記事項証明書）、個人事業主の場合は住民票（いずれの書類も原本で、発行後３か月以内のもの）

本事業の詳しい説明や申請書等のダウンロードは、鹿児島市ホームページへ
「輸出チャレンジ」で検索！（URL：http://www.city.kagoshima.lg.jp）

問い合わせ先・申込先

鹿児島市 産業局 産業振興部 産業政策課 企画調整係

住　所：〒892－8677　鹿児島市山下町１１番１号
ＴＥＬ：０９９－２１６－１３１８　　ＦＡＸ：０９９－２１６－１３０３
E-mail：san-seisaku@city.kagoshima.lg.jp

6　審査・補助金交付

⑴ 交付申請書等（以下「申請書等」という。）を審査の上、その結果を書面により通知します。

⑵ 出展後に提出していただく「事業実績報告書」を審査し、補助金額を確定します。

⑶ 「補助金請求書」提出後、補助金を交付（指定口座へ入金）します。

7　その他

⑴ 本市以外から、出展等経費の一部に対する補助金等の交付を受ける場合は、その補助の対象となった経費を控除した額が、本事業の補助対象経費となります。

⑵ 補助金の交付額は、交付決定額の範囲内となります。

⑶ 申請内容等に虚偽の記載が判明したときや、申請要件に該当しなくなったときは、補助金の交付決定が取り消され、既に補助金が交付されているときは、返還していただきます。

⑷ 申請書等は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。また、申請書等は、本事業における審査及び助成後の支援以外に使用することはありません。

H２８.３月作成

＊＊＊　薩摩川内港（川内港）から世界へ!!　＊＊＊

３航路週４便で運航！！

【コンテナ船と移動式ハーバークレーン】

【コンテナヤード】

１．国際定期コンテナ航路について

現在、薩摩川内港には、OOCL による国際戦略港湾（神戸）と結ぶ国際フィーダー航路、興亜海運株式会社（日本総代理店・三栄海運株式会社）による韓国（釜山）航路、愛媛オーシャン・ライン株式会社による台湾（基隆・高雄）の３航路週４便の国際定期コンテナ航路が開設されており、安定したサービスを提供しております。

また、平成２７年３月には、南九州西回り自動車道の『薩摩川内高江 IC－薩摩川内水引 IC』が開通し、『鹿児島－薩摩川内水引』間が全線開通したことから、薩摩川内港への交通アクセスが更に充実しました。

鹿児島県西部地域の企業へのメリットとして、薩摩川内港を利用することによる国内輸送費の削減、OOCL、興亜海運、愛媛オーシャン・ラインのサービスネットワークによる東南アジア／中国／台湾等へのコンテナサービスの利用が可能であり、更に、全世界との物流ルートが確保されます。

＜平成 28 年 9 月 16 日から＞

２．指定保税地域の指定について

平成２２年１１月１日に薩摩川内港のコンテナヤードが指定保税地域の指定を受け、公共性の確保、保税地域が拡張され税関手続きがより迅速に処理できるようになりました。

３．薩摩川内港貿易補助金について

①補助対象者

川内港において外貿定期コンテナ船（内航フィーダーコンテナ船を含む）又はその他外国船を利用し、外国との商取引を行う企業（個人経営者含む）に対して交付する。

②補助金

新規利用事業者	■コンテナ貨物（１個当たり）　４万円 ■１年度当たりの上限額　　８０万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物（１個当たり）　２万円 ■１年度当たりの上限額　　４０万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物（１Ｋｇ当たり）　　１円 ■１年度当たりの上限額　　４０万円

※製紙原材料であるチップの貿易活動は対象外となります。
※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けていない事業者
※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者
※コンテナは２０フィート・４０フィートに関わらず同額となります。

４．薩摩川内港木材輸出促進補助金

①補助対象者

薩摩川内港を利用して木材を輸出した企業（個人経営者を含む。）に対して交付する。なお、川内港貿易補助金との重複受給はできません。

②補助金

新規利用事業者	■コンテナ貨物（１個当たり）　４万円 ■１年度当たりの上限額　１２０万円
継続利用事業者	■コンテナ貨物（１個当たり）　３万円 ■１年度当たりの上限額　　９０万円
新規・継続利用事業者	■バラ貨物（１Ｋｇ当たり）　　１円 ■１年度当たりの上限額　　９０万円 ※バラ貨物は１回の貿易行為当たり４５万円を上限とする
新規・継続利用事業者	■コンテナ貨物 川内港からコンテナ貨物として輸出される木材のくん蒸に要した費用に対して補助する。５０㎥以上のくん蒸１回当たり１５万 ■１年度当たりの上限額　　４５万円（３回分） ※くん蒸箇所は川内港周辺部（薩摩川内市港町）に限る。

※新規利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けていない事業者
※継続利用事業者：前年度及び前々年度に川内港補助金の交付を受けている事業者
※コンテナは２０フィート・４０フィートに関わらず同額となります。

５．リーファーコンセントの口数について

４４０Ｖ：１５口

６．夜間照明施設の設置について

コンテナヤード内の夜間照明施設は３基となっています。

７．３軸トレーラの対応について

平成２０年４月から、２０フィートの国際海上コンテナにフル積載（２４トン）する場合、３軸トレーラが必要となり、現行の改造２軸トレーラのままでは、過積載違反となります。薩摩川内港の各業者は、３軸トレーラを配置しておりますので、フル積載コンテナを確実に運送できる薩摩川内港のご利用をお願い申し上げます。

【問い合わせ先】
かごしま川内貿易振興協会（薩摩川内市国際交流センター内）
TEL・FAX　０９９６－２５－３３００
薩摩川内市　商工観光部　交通貿易課
TEL ０９９６－２３－５１１１（内線 4391）FAX ０９９６－２０－５５７０

☆☆☆　鹿児島港（谷山）発着　国際コンテナ航路　☆☆☆

平成２８年３月１日「鹿児島港国際コンテナヤード」開設

場所：鹿児島市谷山港１丁目２４　㈱共進組　谷山港支店

【平成２８年３月１日　開所式　風景】

【鹿児島港国際コンテナヤード内荷役風景】

平成２８年３月１日　鹿児島市谷山港１丁目２４（谷山１区８号岸壁近隣）に、琉球海運㈱鹿児島代理店の「㈱共進組」が「鹿児島港国際コンテナヤード」を開設致しました。

当鹿児島港国際コンテナヤードは、国際コンテナを約２００本（TEU）集積するコンテナヤードとして機能することはもとより、今まで鹿児島港に無かった「リーファーコンテナプラグ（温度管理を行えるコンテナの電源供給施設）」を４８本常設しております。

TPP 締結を間近にした昨今、「鹿児島県産の農林水産品」の「新たなる輸出入貿易拠点」が稼動する運びとなりました。

鹿児島市内及び南薩摩地域、鹿児島港に航路がある離島の皆様方に、最短距離でご利用できる港の補完機能「鹿児島港国際コンテナヤード」。

当鹿児島港国際コンテナヤードにリーファーコンテナプラグが備わることで、国内輸送費軽減やリードタイム短縮、CO2 削減効果をも得られる、新たな物流サービスをご提供させて頂きたいと思います。また、平成２８年３月２６日　コンテナ荷役機材「リーチスタッカー」を導入し、より円滑なヤード運営を取り組んでおります。

【４８本常設したリーファーコンテナプラグ】

【リーファーコンテナプラグの使用状況】

☆☆☆　平成２８年３月２６日導入　ユニキャリア製　リーチスタッカー　☆☆☆

平成２６年６月から鹿児島港に就航した鹿児島初の定期国際コンテナ大型 RO-RO 船琉球海運㈱運航の船名「みやらびⅡ」。鹿児島市内の中心地「谷山港」から　世界第１４位の国際コンテナハブ港「台湾/ 高雄港」へ毎週１便往復　順調に運航させて頂いております。

琉球海運㈱「みやらびⅡ」運航スケジュール　（高雄港より世界各国へ繋がる鹿児島港）

運航サービス「MOL JAPAN㈱」

鹿児島発	毎週木曜日	１３時～	高雄港着	（３日間）
			香港着	（５日間）
			上海着	（６日間）
			シンガポール	（９日間）
高雄発	毎週日曜日	１３時～	鹿児島着	毎週火曜日　１７時着予定

【お問い合わせ先】　鹿児島市谷山港１丁目２４　㈱共進組　TEL 099-203-0390

☆☆☆　詳しくは、「株式会社　共進組」　ホームページをご参照願います。☆☆☆

【ランプウェイ荷役（船内へシャーシで船積み）】

【現行トップリフターでの船側荷役風景】

■■　国際物流拠点を目指す「志布志港」　■■

１．志布志港の概要

志布志港は，九州南東部に位置する，鹿児島県が管理する重要港湾です。

本港の後背地域は，牛・豚・鶏などを生産する日本有数の畜産地帯となっており，志布志港には，穀物船やコンテナ船により，世界各国からとうもろこし，牧草，稲わら等の飼料原料が輸入されています。

輸入された飼料原料は，若浜地区の臨海工業用地に立地している大規模穀物貯蔵施設や配合飼料製造業等により，配合飼料等が生産され，九州各地に搬出されています。

また，志布志港は，中国や台湾，東南アジアへの近接性という特色があり，現在，外貿定期コンテナ航路が，台湾，中国，韓国との間に４航路週１３便体制で就航しているほか，大阪，東京，沖縄を結ぶ内航フェリー・RORO船も充実しています。

このように，志布志港は，南九州地域における国際物流拠点港としての機能を担っています。

２．新若浜地区「国際コンテナターミナル」について

平成２１年３月に供用開始した，国際コンテナターミナルは，５万トン級のコンテナ貨物船が接岸できる，水深１４ｍの岸壁１バース（Ｌ＝２８０ｍ）とガントリークレーン２基を有しており，コンテナ蔵置場は，１２万ＴＥＵの蔵置能力を備えています。

この他，コンテナターミナルには，動植物検疫の検査場や多目的上屋１棟，冷凍冷蔵コンテナ用のリーファーコンセント５０口などが整備されています。

また，志布志港は，ＣＩＱ機能も充実しており，本コンテナターミナルが，指定保税地域に指定されていることから，税関手続きの迅速な処理ができるようになっています。

３．志布志港利用者に対するインセンティブ

（１）新若浜地区国際コンテナターミナルを発着するコンテナ船の係船料とガントリークレーン使用料を１／２減免。

（２）新若浜地区国際コンテナターミナルを発着する定期コンテナ船を利用する荷主に対し，新規または増加分の輸出入貨物について以下を助成。

申請区分	助　成　額	摘要
【新規利用】	・新規事業者の全取扱量に対して助成 輸入貨物… 5,000円(1TEUにつき) 輸出貨物…10,000円(1TEUにつき)	一荷主あたりの補助上限額 輸入…1,000,000円 輸出…2,000,000円
【継続利用】	・全取扱量に対して助成 輸入貨物…　500円(1TEUにつき) 輸出貨物…1,000円(1TEUにつき) ・増加貨物に対して助成 (比較対照期間の最大取扱量よりも、増加した取扱量に対し助成) 輸入貨物… 5,000円(1TEUにつき) 輸出貨物…10,000円(1TEUにつき)	一荷主あたりの補助上限額 輸入…2,000,000円 輸出…3,000,000円

（３）新若浜地区国際コンテナターミナルを発着する定期コンテナ船を利用し食品を輸出する荷主に対して，２万円／本を助成。但し，１荷主の年間助成限度額は，５０万円。

※（２）及び（３）の詳細につきましては，志布志市港湾商工課（099-474-1111 内線285）にお問い合わせください。

４．定期航路の状況

志布志港には，外貿内貿について，それぞれ定期船が就航しています。

外貿コンテナ定期航路については，中国・韓国・台湾への外貿コンテナ航路と，神戸トランシップによる国際フィーダー航路が就航しており，アジアをはじめ，北米，豪州，欧州等世界各国と結ばれています。 国内定期航路についても，東京・大阪・沖縄との間に定期航路が就航しています。

なお，定期航路の就航状況につきましては，鹿児島県ホームページ（以下ＵＲＬ）をご覧ください。

鹿児島県ホームページ（定期航路のご案内）

http://www.pref.kagoshima.jp/ah09/infra/port/minato/shibushi/gaiyou/kouro.html

【お問い合わせ】
志布志港ポートセールス推進協議会事務局（鹿児島県土木部港湾空港課内）
〒890-8577　鹿児島市鴨池新町１０番１号
TEL 099(286)3640　FAX 099(286)5629　E-MAIL kouwanp@pref.kagoshima.lg.jp
URL　http://www.pref.kagoshima.jp/infra/port/minato/shibushi/

近　着　図　書　資　料　情　報

★ここでは、かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーで入手した図書を紹介しています。
掲載されている資料は自由に閲覧することができます。
★ライブラリーでは、設置してあるパソコンを自由にご利用いただき、インターネットを使って貿易に関する情報を入手できます。
※セキュリティの為、一部閲覧できないサイトもございます。
★また、図書や資料等の充実を図るため、みなさまからのご要望もうけつけております。
揃えてほしい資料等がございましたら、事務局までご連絡ください。

ライブラリー近着図書(H29.2.21～H29.3.20)

番号	資料名	発行者名	受入年月日
1	KISC　冬号	かごしま産業支援センター	2017/02/23
2	TSR情報　No.2631	東京商工リサーチ	2017/02/23
3	商工金融　2017年2月号	一般社団法人　商工総合研究所	2017/02/23
4	日経ビジネス　No.1880	日経BP社	2017/02/23
5	日経BP総合研究所ﾘﾎﾟｰﾄ2016-17	日経BP総合研究所	2017/02/24
6	香港ライナー　No.76	香港経済貿易代表部	2017/02/27
7	TSR情報　No.2632	東京商工リサーチ	2017/03/02
8	TPP解説書　原産地規則編(追加分)	日本貿易振興機構(ジェトロ)	2017/03/06
9	TPP解説書　関税編(追加分)	日本貿易振興機構(ジェトロ)	2017/03/06
10	台湾情報誌　交流　2017年3月　vol.911	公益財団法人　交流協会	2017/03/06
11	日経ビジネス　No.1881	日経BP社	2017/03/06
12	香川県貿易投資関係企業名簿2016-2017	日本貿易振興機構(ジェトロ)香川貿易センター	2017/03/06
13	ちゅうきんだより　2017特別号vol.464	商工中金	2017/03/06
14	AFCフォーラム　3月号	日本政策金融公庫	2017/03/06
15	中華民国　台湾投資通信　vol.258	中華民国　経済部　投資業務処	2017/03/07
16	月刊グローバル経営　2017年3月号	一般社団法人　日本在外企業協会	2017/03/07
17	TSR情報　No.2633	東京商工リサーチ	2017/03/09
18	中小企業振興	中小機構	2017/03/09
19	JBIC Today February 2017	株式会社　国際協力銀行	2017/03/09
20	海外安全　虎の巻　2017外務省	外務省	2017/03/09

21	日経ビジネス　No.1882	日経BP社	2017/03/10
22	Food&Agriculture別冊「海外の食のﾄﾚﾝﾄﾞ2016/17～ｶﾌｪ、天丼、肉代用品、不景気下ではﾗﾑ酒も人気～」	日本貿易振興機構（ジェトロ）農林水産・食品部	2017/03/14
23	ジェトロセンサー　4月号	日本貿易振興機構（ジェトロ）	2017/03/14
24	地域団体商標事例集2017	特許庁審査業務部商標課	2017/03/14
25	TSR情報　No.2634	東京商エリサーチ	2017/03/16
26	KER経済情報　3月号	株式会社九州経済研究所	2017/03/16
27	食品ﾗﾍﾞﾙ表示：栄養成分および補助食品表示の改正（仮訳）	日本貿易振興機構（ジェトロ）農林水産・食品課	2017/03/16
28	米国食品安全強化法　ﾋﾄ向け食品の危害分析およびﾘｽｸに応じた予防管理	日本貿易振興機構（ジェトロ）農林水産・食品課	2017/03/16
29	日経ビジネス　No.1883	日経BP社	2017/03/17

公表資料

平成29年2月23日
鹿児島税関支署

鹿児島税関支署 管内貿易概況（速報値）

平成２９年１月分

輸出 前年同月比（▲17.6%）二桁台の減少　**輸入** 前年同月比（+47.6%）大幅増

輸出

「木材及びコルク」（前年同月比155.2%）、「元素及び化合物」（同2.3倍）などが増加したものの、「電気機器」（同6.6%）、「ゴム製品」（同74.8%）、「パルプ及び古紙」（同54.4%）などが減少したことにより、総額では、17億34百万円（同82.4%）と3ヵ月連続の減少となった。

輸入

「電気機器」（前年同月比74.3%）、「非金属鉱物製品」（同62.5%）などが減少したものの、「原油及び粗油」（同152.5%）、「輸送用機器」（同殆全増）、「穀物及び同調製品」（同116.2%）などが増加したことにより、総額では、858億56百万円（同147.6%）と3ヵ月連続の増加となった。

管内動向

参照 ： 付表１、２ページ

	貿易額	前年同月比	増減等
輸 出 額	１７億３４百万円	82.4 %	３ヵ月連続の減少
輸 入 額	８５８億５６百万円	147.6 %	３ヵ月連続の増加

（注）百万円未満の価格は四捨五入、以下同じ。

輸出

参照：付表－３ページ

品名	輸出額	前年同月比	構成比	主な仕向国
ゴム製品	3億93百万円	74.8 %	22.7 %	アメリカ、ロシア、メキシコ
木材及びコルク	2億60百万円	155.2 %	15.0 %	中国、台湾、韓国
原皮及び毛皮（未仕上）	2億05百万円	123.5 %	11.8 %	タイ、台湾
元素及び化合物	1億50百万円	2.3 倍	8.6 %	ハンガリー、メキシコ、フランス
パルプ及び古紙	1億41百万円	54.4 %	8.1 %	中国、韓国

参考：「原油及び粗油」前々年同月比：（価格）60.6%（数量）73.4%
（輸入額：1,008億27百万円、数量：215万kℓ）である。

輸入

参照：付表－４ページ

品名	輸入額	前年同月比	構成比	主な仕出国
原油及び粗油	611億04百万円	152.5 %	71.2 %	KSA、ロシア、UAE、イラク、メキシコ
（数量）	158万kℓ	105.7 %		クウェート、カタール、インドネシア
穀物及び同調製品	76億14百万円	116.2 %	8.9 %	アメリカ、ロシア、ウクライナ
（とうもろこし）	40億35百万円	71.7 %	（ 4.7 %）	アメリカ、ロシア、ウクライナ
（米）	23億03百万円	全 増	（ 2.7 %）	アメリカ、タイ
（大麦及びはだか麦）	5億78百万円	3.5 倍	（ 0.7 %）	オーストラリア、カナダ
飼料	41億69百万円	98.0 %	4.9 %	インド、中国、アルゼンチン
輸送用機器	38億91百万円	殆 全 増	4.5 %	フランス、ドイツ、アメリカ

【飼料】には、『植物性油かす　27億35百万円』、『魚介類の粉、ミール及びペレット　3億1百万円』等が含まれる。

ＫＳＡ：サウジアラビア
ＵＡＥ：アラブ首長国連邦

鹿児島税関支署

	貿易額	前年同月比	増減等
輸 出 額	１億１５百万円	102.1 %	２ヵ月ぶりの増加
輸 入 額	６６３億５８百万円	150.7 %	３ヵ月連続の増加

輸出動向 参照：付表－７ページ（上欄　左側）

品名	輸出額	前年同月比	構成比	主な仕向国
金属鉱及びくず	52百万円	47.5 %	45.6 %	中国
元素及び化合物	50百万円	全 増	43.2 %	メキシコ
魚介類及び同調製品	9百万円	全 増	7.6 %	アメリカ

輸入動向 参照：付表－７ページ（上欄　右側）

品名	輸入額	前年同月比	構成比	主な仕出国
原油及び粗油	611億04百万円	152.5 %	92.1 %	KSA、ロシア、UAE、イラク、メキシコ
（数量）	158万kℓ	105.7 %		クウェート、カタール、インドネシア
穀物及び同調製品	27億51百万円	127.6 %	4.1 %	アメリカ、タイ、ロシア
天然ガス及び製造ガス	11億16百万円	196.0 %	1.7 %	オーストラリア、韓国
飼料	6億31百万円	83.0 %	1.0 %	アルゼンチン、インド、中国

【穀物及び同調製品】には、『とうもろこし　14億99百万円』、『米　8億8百万円』等が含まれる。
【飼料】には、『植物性油かす　6億13百万円』、『ふすま　16百万円』等が含まれる。

ＫＳＡ：サウジアラビア
ＵＡＥ：アラブ首長国連邦

鹿児島空港出張所

	貿易額	前年同月比	増減等
輸 出 額	４３百万円	117.9 %	２ヵ月ぶりの増加
輸 入 額	３５億１２百万円	41.1 倍	２ヵ月連続の増加

輸出動向 参照：付表－７ページ（下欄　左側）

品名	輸出額	前年同月比	構成比	主な仕向国
一般機械	26百万円	161.3 %	59.1 %	アメリカ、オーストラリア
魚介類及び同調製品	13百万円	123.1 %	30.0 %	台湾
精油・香料及び化粧品類	5百万円	73.4 %	10.9 %	アメリカ、オーストラリア

輸入動向 参照：付表－７ページ（下欄　右側）

品名	輸入額	前年同月比	構成比	主な仕出国
輸送用機器	34億93百万円	殆 全 増	99.5 %	フランス、ドイツ、アメリカ
一般機械	8百万円	全 増	0.2 %	中国、イギリス

志布志出張所

	貿易額	前年同月比	増減等
輸 出 額	１１億８６百万円	77.0 %	３ヵ月連続の減少
輸 入 額	１４２億４２百万円	119.2 %	２ヵ月ぶりの増加

輸出動向 参照：付表－８ページ（上欄　左側）

品名	輸出額	前年同月比	構成比	主な仕向国
ゴム製品	3億93百万円	74.8 %	33.2 %	アメリカ、ロシア、メキシコ
木材及びコルク	2億52百万円	160.3 %	21.2 %	中国、台湾、韓国
原皮及び毛皮（未仕上）	2億05百万円	123.5 %	17.3 %	タイ、台湾

輸入動向 参照：付表－８ページ（上欄　右側）

品名	輸入額	前年同月比	構成比	主な仕出国
穀物及び同調製品	48億62百万円	110.6 %	34.1 %	アメリカ、ロシア、ウクライナ
飼料	32億93百万円	101.0 %	23.1 %	インド、中国、アルゼンチン
電気機器	11億25百万円	91.3 %	7.9 %	中国、韓国

【穀物及び同調製品】には、『とうもろこし　25億36百万円』、『米　14億95百万円』等が含まれる。
【飼料】には、『植物性油かす　21億15百万円』、『魚介類の粉、ミール及びペレット　1億38百万円』等が含まれる。

川内出張所

	貿易額	前年同月比	増減等
輸 出 額	３億２４百万円	86.8 %	１１ヵ月連続の減少
輸 入 額	１４億４７百万円	82.7 %	８ヵ月連続の減少

輸出動向 参照：付表－8ページ（中欄　左側）

品名	輸出額	前年同月比	構成比	主な仕向国
パルプ及び古紙	1億21百万円	52.6 %	37.2 %	中国、韓国
金属鉱及びくず	55百万円	全 増	17.0 %	中国
紙類及び同製品	45百万円	127.5 %	14.0 %	ベトナム、マレーシア、韓国

輸入動向 参照：付表－8ページ（中欄　右側）

品名	輸入額	前年同月比	構成比	主な仕出国
木製品及びコルク製品（除家具）	3億67百万円	82.2 %	25.4 %	ベトナム、フィリピン、中国
電気機器	3億53百万円	46.6 %	24.4 %	中国、フィリピン、インド
飼料	2億46百万円	104.9 %	17.0 %	タイ、チリ、ベトナム

枕崎出張所

	貿易額	前年同月比	増減等
輸 出 額	６６百万円	163.5 %	３ヵ月連続の増加
輸 入 額	２億９７百万円	80.8 %	２ヵ月連続の減少

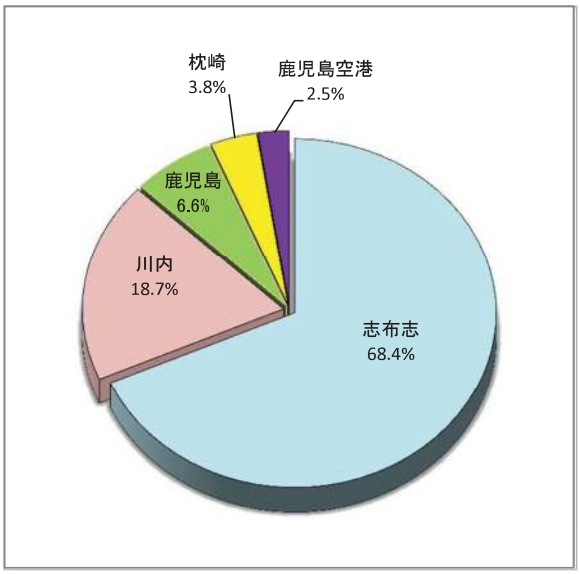
輸出動向 参照：付表ー8ページ（下欄　左側）

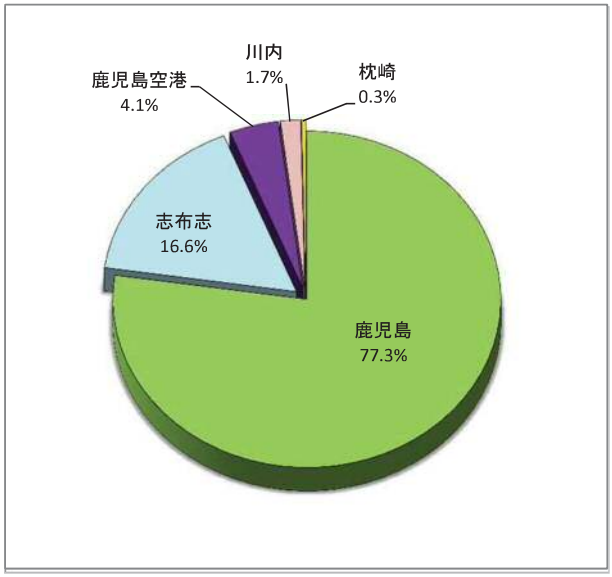
品名	輸出額	前年同月比	構成比	主な仕向国
魚介類及び同調製品	61百万円	189.1 %	92.8 %	タイ
粗鉱物	2百万円	全 増	3.4 %	ミクロネシア

輸入動向 参照：付表ー8ページ（下欄　右側）

品名	輸入額	前年同月比	構成比	主な仕出国
魚介類及び同調製品	2億96百万円	80.5 %	99.7 %	インドネシア、ガーナ、セネガル

鹿児島管内輸出入額構成比グラフ





輸出額　　１月分

１７億３４百万円

輸入額　　１月分

８５８億５６百万円

平 成 29 年 2 月 23 日
鹿 児 島 税 関 支 署

［公表資料］

鹿 児 島 税 関 支 署 管 内 貿 易 概 況 （速 報 値）

［平成29年1月分］

◎鹿児島税関支署管内貿易総額

（単位：百万円）

区　　分	1月分	前年同月比	長崎税関管内比	累　　計	前年同期比	長崎税関管内比
輸　出	1,734	82.4%	2.7%	1,734	82.4%	2.7%
輸　入	85,856	147.6%	75.4%	85,856	147.6%	75.4%
入(△)出超	△　84,121	－	－	△　84,121	－	－

◎長崎税関管内貿易総額

（単位：百万円）

区　　分	1月分	前年同月比	累　　計	前年同期比
輸　出	65,393	107.0%	65,393	107.0%
輸　入	113,830	134.0%	113,830	134.0%
入(△)出超	△　48,437	－	△　48,437	－

注　1. 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格による。
2. 輸出は当該貨物を積載する船舶又は航空機の出港の日、輸入は当該貨物の許可の日（蔵入貨物、移入貨物及び輸入許可前引取貨物は、それぞれ当該貨物の蔵入、移入、許可前引取の承認の日）をもって計上。
3. 数量又は価格欄中の「0」は表示単位に満たないもの、「－」は実績がないもの、「殆全増」は前年比が100倍以上の場合に表示。
4. 本資料を他に転載する場合は、必ず鹿児島税関支署の資料に基づく旨を注記してください。

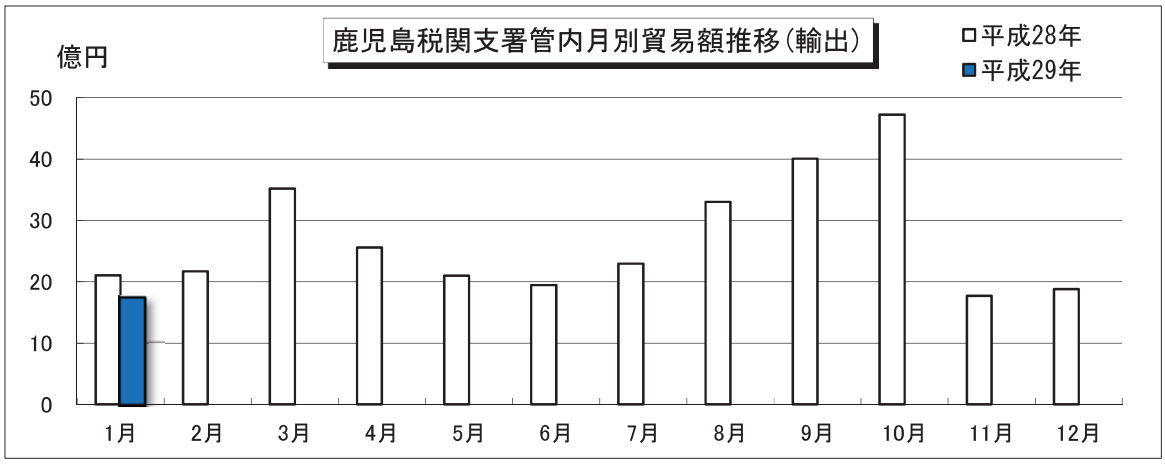
［付表］1

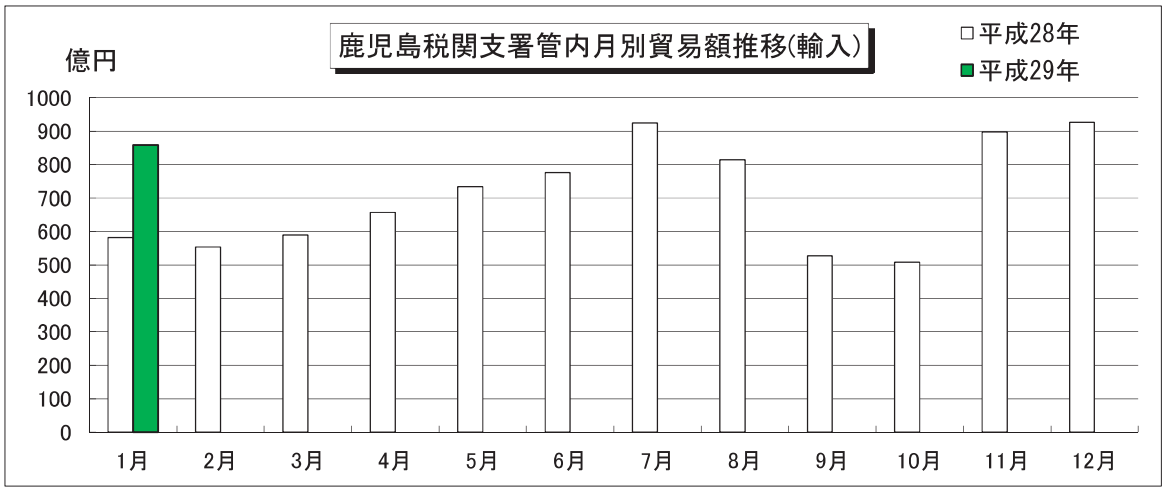
◎鹿児島税関支署管内月別貿易額推移

（単位：百万円）

区　　分	輸出			輸入		
	平成29年	平成28年	前年同月比	**平成29年**	平成28年	前年同月比
1　月	1,734	2,104	82.4%	85,856	58,186	147.6%
2　月		2,168			55,385	
3　月		3,518			58,918	
4　月		2,560			65,730	
5　月		2,102			73,371	
6　月		1,946			77,649	
7　月		2,293			92,465	
8　月		3,302			81,446	
9　月		4,004			52,752	
10　月		4,725			50,822	
11　月		1,770			89,817	
12　月		1,882			92,591	
累　計	1,734	32,374	82.4%	85,856	849,133	147.6%

累計は１月から当月までの累計である。輸出の当月分、輸入の当月分及び前月分は速報値である。





［付表］2

◎鹿児島税関支署管内主要輸出品表　［平成29年1月分］　（単位；千円）

商品名	単位	当月分					1月以降累計			
				前年同月比					前年同期比	
		数量	価額	数量	価額	構成比	数量	価額	数量	価額
総額			**1,734,235**		**82.4%**	**100.0%**		**1,734,235**		**82.4%**
食料品及び動物			**114,316**		**105.7%**	**6.6%**		**114,316**		**105.7%**
肉類及び同調製品	MT	23	5,032	100.0%	98.8%	0.3%	23	5,032	100.0%	98.8%
魚介類及び同調製品	MT	357	96,839	51.5%	94.0%	5.6%	357	96,839	51.5%	94.0%
魚介類	MT	357	96,839	51.5%	94.0%	5.6%	357	96,839	51.5%	94.0%
飼料	MT	17	12,224	全増	全増	0.7%	17	12,224	全増	全増
配合飼料（ペットフードを含む）	MT	17	12,224	全増	全増	0.7%	17	12,224	全増	全増
飲料及びたばこ			**7,174**		**4.6倍**	**0.4%**		**7,174**		**4.6倍**
飲料	KL	21	7,174	87.5%	4.6倍	0.4%	21	7,174	87.5%	4.6倍
原材料			**787,396**		**110.0%**	**45.4%**		**787,396**		**110.0%**
原皮及び毛皮（未仕上）	MT	1,165	205,020	106.8%	123.5%	11.8%	1,165	205,020	106.8%	123.5%
木材及びコルク			259,728		155.2%	15.0%		259,728		155.2%
木材			258,881		154.7%	14.9%		258,881		154.7%
パルプ及び古紙	MT	3,484	140,609	65.3%	54.4%	8.1%	3,484	140,609	65.3%	54.4%
粗鉱物	MT	3,154	56,008	8.9倍	5.1倍	3.2%	3,154	56,008	8.9倍	5.1倍
金属鉱及びくず	MT	1,835	107,405	30.3%	96.0%	6.2%	1,835	107,405	30.3%	96.0%
（鉄鋼くず）	MT	1,716	81,460	28.4%	74.1%	4.7%	1,716	81,460	28.4%	74.1%
その他の動植物性原材料			14,831		全増	0.9%		14,831		全増
化学製品			**214,438**		**2.2倍**	**12.4%**		**214,438**		**2.2倍**
元素及び化合物			149,752		2.3倍	8.6%		149,752		2.3倍
無機化合物	MT	549	149,752	2.4倍	2.3倍	8.6%	549	149,752	2.4倍	2.3倍
精油・香料及び化粧品類	MT	1	4,703	50.0%	73.4%	0.3%	1	4,703	50.0%	73.4%
くつずみ及びクレンザー類	MT	1	4,183	50.0%	77.2%	0.2%	1	4,183	50.0%	77.2%
肥料	MT	1,022	4,998	4.9倍	169.5%	0.3%	1,022	4,998	4.9倍	169.5%
プラスチック	MT	837	39,618	2.1倍	2.1倍	2.3%	837	39,618	2.1倍	2.1倍
ポリエチレン	MT	80	6,552	181.8%	197.9%	0.4%	80	6,552	181.8%	197.9%
その他の化学製品	MT	167	15,128	3.0倍	3.8倍	0.9%	167	15,128	3.0倍	3.8倍
原料別製品			**441,607**		**76.0%**	**25.5%**		**441,607**		**76.0%**
ゴム製品	MT	958	393,408	89.1%	74.8%	22.7%	958	393,408	89.1%	74.8%
ゴム加工材料	MT	21	12,373	52.5%	55.0%	0.7%	21	12,373	52.5%	55.0%
ゴムタイヤ及びチューブ	KG	936,937	381,035	90.6%	75.7%	22.0%	936,937	381,035	90.6%	75.7%
紙類及び同製品	MT	647	45,478	105.0%	93.6%	2.6%	647	45,478	105.0%	93.6%
紙及び板紙	MT	647	45,478	105.0%	93.6%	2.6%	647	45,478	105.0%	93.6%
機械類及び輸送用機器			**146,972**		**25.8%**	**8.5%**		**146,972**		**25.8%**
一般機械			98,974		2.3倍	5.7%		98,974		2.3倍
金属加工機械			3,939		全増	0.2%		3,939		全増
加熱用・冷却用機器			60,925		2.7倍	3.5%		60,925		2.7倍
電気機器			34,306		6.6%	2.0%		34,306		6.6%
輸送用機器			13,692		160.3%	0.8%		13,692		160.3%
自動車	NO	27	8,023	3.9倍	6.6倍	0.5%	27	8,023	3.9倍	6.6倍
自動車の部分品	KG	43,827	5,459	77.7%	74.5%	0.3%	43,827	5,459	77.7%	74.5%
雑製品			**4,894**		**51.1%**	**0.3%**		**4,894**		**51.1%**
その他の雑製品			4,444		48.7%	0.3%		4,444		48.7%
プラスチック製品	KG	3,790	4,444	5.1倍	2.2倍	0.3%	3,790	4,444	5.1倍	2.2倍
特殊取扱品			**16,490**		**76.9%**	**1.0%**		**16,490**		**76.9%**
再輸出品			16,490		76.9%	1.0%		16,490		76.9%

［付表］3

◎鹿児島税関支署管内主要輸入品表　［平成29年1月分］　（単位：千円）

商品名	単位	当月分 数量	当月分 価額	当月分 前年同月比 数量	当月分 前年同月比 価額	当月分 構成比	1月以降累計 数量	1月以降累計 価額	1月以降累計 前年同期比 数量	1月以降累計 前年同期比 価額
総額			**85,855,609**		**147.6%**	**100.0%**		**85,855,609**		**147.6%**
食料品及び動物			**12,642,624**		**108.0%**	**14.7%**		**12,642,624**		**108.0%**
魚介類及び同調製品	MT	2,064	461,282	82.1%	97.4%	0.5%	2,064	461,282	82.1%	97.4%
魚介類	KG	2,007,666	415,851	81.7%	97.7%	0.5%	2,007,666	415,851	81.7%	97.7%
穀物及び同調製品	MT	266,414	7,614,388	98.1%	116.2%	8.9%	266,414	7,614,388	98.1%	116.2%
小麦及びメスリン	MT	13,536	295,128	2.1倍	178.2%	0.3%	13,536	295,128	2.1倍	178.2%
米	MT	34,029	2,303,299	全増	全増	2.7%	34,029	2,303,299	全増	全増
大麦及びはだか麦	MT	23,780	578,003	3.6倍	3.5倍	0.7%	23,780	578,003	3.6倍	3.5倍
とうもろこし	MT	176,526	4,034,829	75.9%	71.7%	4.7%	176,526	4,034,829	75.9%	71.7%
こうりゃん（飼料用）	MT	18,458	398,027	73.2%	69.8%	0.5%	18,458	398,027	73.2%	69.8%
果実及び野菜	KG	2,995,070	224,242	3.7倍	2.2倍	0.3%	2,995,070	224,242	3.7倍	2.2倍
野菜	KG	2,925,824	204,864	3.8倍	2.3倍	0.2%	2,925,824	204,864	3.8倍	2.3倍
飼料	MT	91,313	4,169,340	100.6%	98.0%	4.9%	91,313	4,169,340	100.6%	98.0%
植物性油かす	MT	57,666	2,735,450	99.0%	103.6%	3.2%	57,666	2,735,450	99.0%	103.6%
魚介類の粉、ミール及びペレット	MT	1,818	300,737	66.3%	55.7%	0.4%	1,818	300,737	66.3%	55.7%
原材料			**1,432,475**		**140.1%**	**1.7%**		**1,432,475**		**140.1%**
採油用の種・ナット及び核	MT	4,578	231,864	16.2倍	12.0倍	0.3%	4,578	231,864	16.2倍	12.0倍
大豆	MT	4,263	220,096	25.2倍	20.3倍	0.3%	4,263	220,096	25.2倍	20.3倍
生ゴム	MT	5,519	1,074,634	110.2%	126.5%	1.3%	5,519	1,074,634	110.2%	126.5%
天然ゴム	MT	4,260	744,314	100.0%	112.5%	0.9%	4,260	744,314	100.0%	112.5%
合成ゴム	MT	1,259	330,320	167.6%	175.5%	0.4%	1,259	330,320	167.6%	175.5%
鉱物性燃料			**62,277,213**		**152.8%**	**72.5%**		**62,277,213**		**152.8%**
石油及び同製品			61,156,380		152.3%	71.2%		61,156,380		152.3%
原油及び粗油	KL	1,579,702	61,104,226	105.7%	152.5%	71.2%	1,579,702	61,104,226	105.7%	152.5%
天然ガス及び製造ガス	MT	24,795	1,119,853	2.5倍	193.8%	1.3%	24,795	1,119,853	2.5倍	193.8%
石油ガス類	MT	24,795	1,119,853	2.5倍	193.8%	1.3%	24,795	1,119,853	2.5倍	193.8%
化学製品			**1,316,792**		**127.8%**	**1.5%**		**1,316,792**		**127.8%**
元素及び化合物			867,066		129.6%	1.0%		867,066		129.6%
有機化合物			310,407		105.2%	0.4%		310,407		105.2%
無機化合物	MT	6,505	556,659	173.2%	148.9%	0.6%	6,505	556,659	173.2%	148.9%
プラスチック	MT	799	120,509	157.3%	171.6%	0.1%	799	120,509	157.3%	171.6%
原料別製品			**1,477,229**		**100.2%**	**1.7%**		**1,477,229**		**100.2%**
木製品及びコルク製品（除家具）			418,235		86.4%	0.5%		418,235		86.4%
パルプウッド等	MT	17,830	325,664	99.9%	88.6%	0.4%	17,830	325,664	99.9%	88.6%
織物用糸及び繊維製品			193,519		116.6%	0.2%		193,519		116.6%
非金属鉱物製品			238,079		62.5%	0.3%		238,079		62.5%
ガラス及び同製品			218,120		60.1%	0.3%		218,120		60.1%
金属製品			450,931		120.2%	0.5%		450,931		120.2%
機械類及び輸送用機器			**5,442,736**		**2.7倍**	**6.3%**		**5,442,736**		**2.7倍**
電気機器			1,478,282		74.3%	1.7%		1,478,282		74.3%
半導体等電子部品			1,475,397		74.7%	1.7%		1,475,397		74.7%
輸送用機器			3,890,906		殆全増	4.5%		3,890,906		殆全増
航空機類	MT	23	3,806,427		殆全増	4.4%	23	3,806,427		殆全増
雑製品			**186,261**		**142.4%**	**0.2%**		**186,261**		**142.4%**
特殊取扱品			**1,044,237**		**殆全増**	**1.2%**		**1,044,237**		**殆全増**
再輸入品			1,044,237		殆全増	1.2%		1,044,237		殆全増

［付表］4

◎鹿児島税関支署管内輸出地域(国)別表　［平成29年1月分］

(単位:千円)

地域(国)別表	当月分			1月以降累計		
	価額	前年同月比	構成比	価額	前年同期比	構成比
総額	**1,734,235**	**82.4%**	**100.0%**	**1,734,235**	**82.4%**	**100.0%**
アジア	**1,221,508**	**113.4%**	**70.4%**	**1,221,508**	**113.4%**	**70.4%**
大韓民国	192,822	54.4%	11.1%	192,822	54.4%	11.1%
中華人民共和国	471,454	156.2%	27.2%	471,454	156.2%	27.2%
台湾	90,801	97.6%	5.2%	90,801	97.6%	5.2%
香港	7,803	51.6%	0.4%	7,803	51.6%	0.4%
ベトナム	30,755	90.9%	1.8%	30,755	90.9%	1.8%
タイ	241,486	111.7%	13.9%	241,486	111.7%	13.9%
マレーシア	15,297	134.5%	0.9%	15,297	134.5%	0.9%
フィリピン	57,434	157.0%	3.3%	57,434	157.0%	3.3%
インドネシア	3,515	23.8%	0.2%	3,515	23.8%	0.2%
カンボジア	43,925	全増	2.5%	43,925	全増	2.5%
パキスタン	64,729	全増	3.7%	64,729	全増	3.7%
モルディブ	1,487	全増	0.1%	1,487	全増	0.1%
大洋州	**8,846**	**42.6%**	**0.5%**	**8,846**	**42.6%**	**0.5%**
オーストラリア	4,152	35.6%	0.2%	4,152	35.6%	0.2%
ミクロネシア	4,694	59.3%	0.3%	4,694	59.3%	0.3%
北米	**194,109**	**24.9%**	**11.2%**	**194,109**	**24.9%**	**11.2%**
アメリカ合衆国	194,109	24.9%	11.2%	194,109	24.9%	11.2%
中南米	**100,498**	**全増**	**5.8%**	**100,498**	**全増**	**5.8%**
メキシコ	100,498	全増	5.8%	100,498	全増	5.8%
西欧	**44,040**	**36.7%**	**2.5%**	**44,040**	**36.7%**	**2.5%**
オランダ	948	2.3%	0.1%	948	2.3%	0.1%
フランス	2,087	90.1%	0.1%	2,087	90.1%	0.1%
ドイツ	41,005	53.1%	2.4%	41,005	53.1%	2.4%
中東欧・ロシア等	**162,087**	**2.6倍**	**9.3%**	**162,087**	**2.6倍**	**9.3%**
ロシア	63,954	全増	3.7%	63,954	全増	3.7%
ハンガリー	98,133	155.8%	5.7%	98,133	155.8%	5.7%
中東	**3,147**	**39.0%**	**0.2%**	**3,147**	**39.0%**	**0.2%**
イラン	752	全増	0.0%	752	全増	0.0%
アラブ首長国連邦	2,395	29.7%	0.1%	2,395	29.7%	0.1%

◎鹿児島税関支署管内輸入地域(国)別表　［平成29年1月分］

(単位:千円)

地域(国)別表	当月分 価額	当月分 前年同月比	当月分 構成比	1月以降累計 価額	1月以降累計 前年同期比	1月以降累計 構成比
総額	**85,855,609**	**147.6%**	**100.0%**	**85,855,609**	**147.6%**	**100.0%**
アジア	**12,089,262**	**127.9%**	**14.1%**	**12,089,262**	**127.9%**	**14.1%**
大韓民国	408,012	140.0%	0.5%	408,012	140.0%	0.5%
中華人民共和国	5,531,549	102.7%	6.4%	5,531,549	102.7%	6.4%
台湾	139,020	115.9%	0.2%	139,020	115.9%	0.2%
ベトナム	400,945	4.5倍	0.5%	400,945	4.5倍	0.5%
タイ	722,563	2.1倍	0.8%	722,563	2.1倍	0.8%
シンガポール	300,207	109.1%	0.3%	300,207	109.1%	0.3%
マレーシア	10,892	2.8%	0.0%	10,892	2.8%	0.0%
フィリピン	86,762	10.4%	0.1%	86,762	10.4%	0.1%
インドネシア	3,188,443	186.2%	3.7%	3,188,443	186.2%	3.7%
インド	1,248,886	44.7倍	1.5%	1,248,886	44.7倍	1.5%
スリランカ	48,460	全増	0.1%	48,460	全増	0.1%
大洋州	**1,865,176**	**7.1倍**	**2.2%**	**1,865,176**	**7.1倍**	**2.2%**
オーストラリア	1,771,258	7.5倍	2.1%	1,771,258	7.5倍	2.1%
ニュージーランド	23,623	91.0%	0.0%	23,623	91.0%	0.0%
マーシャル	70,295	全増	0.1%	70,295	全増	0.1%
北米	**5,668,595**	**2.0倍**	**6.6%**	**5,668,595**	**2.0倍**	**6.6%**
カナダ	383,989	153.2%	0.4%	383,989	153.2%	0.4%
アメリカ合衆国	5,284,606	2.1倍	6.2%	5,284,606	2.1倍	6.2%
中南米	**6,824,719**	**53.3%**	**7.9%**	**6,824,719**	**53.3%**	**7.9%**
メキシコ	5,109,147	167.3%	6.0%	5,109,147	167.3%	6.0%
ペルー	21,866	27.3%	0.0%	21,866	27.3%	0.0%
ボリビア	13,957	39.7%	0.0%	13,957	39.7%	0.0%
チリ	190,423	65.6%	0.2%	190,423	65.6%	0.2%
ブラジル	181,973	4.5%	0.2%	181,973	4.5%	0.2%
パラグアイ	287,435	全増	0.3%	287,435	全増	0.3%
アルゼンチン	1,019,918	151.0%	1.2%	1,019,918	151.0%	1.2%
西欧	**3,470,597**	**23.3倍**	**4.0%**	**3,470,597**	**23.3倍**	**4.0%**
スウェーデン	6,981	88.1%	0.0%	6,981	88.1%	0.0%
デンマーク	12,610	64.6%	0.0%	12,610	64.6%	0.0%
英国	12,144	全増	0.0%	12,144	全増	0.0%
ベルギー	35,217	4.8倍	0.0%	35,217	4.8倍	0.0%
フランス	2,092,732	57.5倍	2.4%	2,092,732	57.5倍	2.4%
ドイツ	1,208,404	殆全増	1.4%	1,208,404	殆全増	1.4%
スイス	21,690	全増	0.0%	21,690	全増	0.0%
イタリア	11,654	163.5%	0.0%	11,654	163.5%	0.0%
フィンランド	28,563	112.3%	0.0%	28,563	112.3%	0.0%
トルコ	28,999	全増	0.0%	28,999	全増	0.0%
中東欧・ロシア等	**11,467,575**	**3.1倍**	**13.4%**	**11,467,575**	**3.1倍**	**13.4%**
ロシア	10,605,517	3.0倍	12.4%	10,605,517	3.0倍	12.4%
ウクライナ	861,078	5.2倍	1.0%	861,078	5.2倍	1.0%
中東	**44,427,964**	**153.0%**	**51.7%**	**44,427,964**	**153.0%**	**51.7%**
イラク	6,466,624	全増	7.5%	6,466,624	全増	7.5%
サウジアラビア	21,123,938	120.8%	24.6%	21,123,938	120.8%	24.6%
クウェート	4,990,784	77.8%	5.8%	4,990,784	77.8%	5.8%
カタール	3,251,668	全増	3.8%	3,251,668	全増	3.8%
アラブ首長国連邦	8,594,950	167.1%	10.0%	8,594,950	167.1%	10.0%
アフリカ	**41,721**	**4.9倍**	**0.0%**	**41,721**	**4.9倍**	**0.0%**
セネガル	11,652	全増	0.0%	11,652	全増	0.0%
ガーナ	24,498	全増	0.0%	24,498	全増	0.0%

◎鹿児島税関支署管内官署別主要輸出入品表（1）　［平成29年1月分］

（単位：千円）

区分	輸出 品名	単位	数量	前年同月比 価額	前年同月比 数量	前年同月比 価額	構成比	輸入 品名	単位	数量	前年同月比 価額	前年同月比 数量	前年同月比 価額	構成比
鹿児島	**総額**			**114,711**		**102.1%**	**100.0%**	**総額**			**66,357,589**		**150.7%**	**100.0%**
	食料品及び動物			**8,905**		**全増**	**7.8%**	**食料品及び動物**			**3,633,847**		**115.4%**	**5.5%**
	魚介類及び同調製品	MT	10	8,684	全増	全増	7.6%	肉類及び同調製品	MT	126	38,343	22.3%	30.0%	0.1%
	魚介類	MT	10	8,684	全増	全増	7.6%	豚・いのししの肉	MT	24	12,610	全増	全増	0.0%
	穀物及び同調製品	MT	0	221	全増	全増	0.2%	鶏肉	MT	32	7,181	6.9%	7.4%	0.0%
	米	MT	0	221	全増	全増	0.2%	魚介類及び同調製品	MT	261	137,819	147.5%	152.5%	0.2%
	原材料			**52,275**		**47.5%**	**45.6%**	魚介類	KG	205,394	92,388	172.6%	2.2倍	0.1%
	金属鉱及びくず	MT	850	52,275	14.1%	47.5%	45.6%	魚介類の調製品	MT	56	45,431	96.6%	94.2%	0.1%
	（鉄鋼くず）	MT	850	52,275	14.1%	47.5%	45.6%	穀物及び同調製品	MT	95,056	2,751,464	112.0%	127.6%	4.1%
	化学製品			**49,532**		**20.3倍**	**43.2%**	小麦及びメスリン	MT	1,571	34,981	全増	全増	0.1%
	元素及び化合物			49,532		全増	43.2%	米	MT	14,007	808,288	全増	全増	1.2%
	無機化合物	MT	180	49,532	全増	全増	43.2%	大麦及びはだか麦	MT	13,658	361,606	3.4倍	3.6倍	0.5%
	特殊取扱品			**3,999**		**全増**	**3.5%**	とうもろこし	MT	63,569	1,498,939	80.6%	74.5%	2.3%
	再輸出品			3,999		全増	3.5%	こうりゃん（飼料用）	MT	2,251	47,650	111.1%	102.0%	0.1%
								果実及び野菜	KG	1,248,000	75,079	10.9倍	6.0倍	0.1%
								野菜	KG	1,248,000	75,079	10.9倍	6.0倍	0.1%
								飼料	MT	13,961	631,142	84.8%	83.0%	1.0%
								ふすま	MT	694	16,132	58.5%	53.0%	0.0%
								植物性油かす	MT	13,252	613,160	100.0%	105.4%	0.9%
								原材料			**221,912**		**4.3倍**	**0.3%**
								採油用の種・ナット及び核	MT	4,122	208,866	全増	全増	0.3%
								大豆	MT	4,122	208,866	全増	全増	0.3%
								粗鉱物	MT	1,068	12,065	17.4%	34.0%	0.0%
								粗鉱物（除りん鉱石）	MT	1,068	12,065	17.4%	34.0%	0.0%
								鉱物性燃料			**62,264,322**		**152.9%**	**93.8%**
								石油及び同製品			61,148,087		152.3%	92.1%
								原油及び粗油	KL	1,579,702	61,104,226	105.7%	152.5%	92.1%
								石油製品			43,861		49.1%	0.1%
								天然ガス及び製造ガス	MT	24,779	1,116,235	2.5倍	196.0%	1.7%
								石油ガス類	MT	24,779	1,116,235	2.5倍	196.0%	1.7%
								化学製品			**156,340**		**174.6%**	**0.2%**
								元素及び化合物			153,928		175.5%	0.2%
								無機化合物	MT	1,480	153,928	3.5倍	175.5%	0.2%
								その他の化学製品	MT	20	2,412	100.0%	133.0%	0.0%
								原料別製品			**81,168**		**4.7倍**	**0.1%**
								鉄鋼	MT	1,448	71,841	全増	全増	0.1%
鹿児島空港	**総額**			**43,224**		**117.9%**	**100.0%**	**総額**			**3,511,668**		**41.1倍**	**100.0%**
	食料品及び動物			**12,976**		**123.1%**	**30.0%**	**鉱物性燃料**			**383**		**全増**	**0.0%**
	魚介類及び同調製品	MT	10	12,976	142.9%	123.1%	30.0%	石油及び同製品			383		全増	0.0%
	魚介類	MT	10	12,976	142.9%	123.1%	30.0%	石油製品			383		全増	0.0%
	化学製品			**4,703**		**73.4%**	**10.9%**	**化学製品**			**2,002**		**103.0%**	**0.1%**
	精油・香料及び化粧品類	MT	1	4,703	50.0%	73.4%	10.9%	医薬品	KG	18	511	112.5%	113.1%	0.0%
	くつずみ及びクレンザー類	MT	1	4,183	50.0%	77.2%	9.7%	その他の化学製品	MT	0	1,491	－	100.0%	0.0%
	機械類及び輸送用機器			**25,545**		**129.6%**	**59.1%**	**原料別製品**			**1,318**		**全増**	**0.0%**
	一般機械			25,545		161.3%	59.1%	金属製品			1,318		全増	0.0%
								くぎ・ねじ・ナット・ボルト類	MT	0	388	全増	全増	0.0%
								機械類及び輸送用機器			**3,502,560**		**殆全増**	**99.7%**
								一般機械			8,408		全増	0.2%
								ポンプ及び遠心分離機			8,050		全増	0.2%
								電気機器			673		全増	0.0%
								重電機器			673		全増	0.0%
								輸送用機器			3,493,479		殆全増	99.5%
								航空機類	MT	18	3,493,479		殆全増	99.5%
								雑製品			**5,405**		**6.2倍**	**0.2%**
								精密機器類			895		102.1%	0.0%
								科学光学機器			895		102.1%	0.0%
								その他の雑製品			4,510		全増	0.1%

［付表］7

◎鹿児島税関支署管内官署別主要輸出入品表(2)　［平成29年1月分］

（単位：千円）

区分	輸出 品名	単位	数量	価額	前年同月比 数量	前年同月比 価額	構成比	輸入 品名	単位	数量	価額	前年同月比 数量	前年同月比 価額	構成比
志布志	**総額**			**1,186,288**		**77.0%**	**100.0%**	**総額**			**14,242,220**		**119.2%**	**100.0%**
	飲料及びたばこ			**7,174**		**10.9倍**	**0.6%**	**食料品及び動物**			**8,388,299**		**107.9%**	**58.9%**
	原材料			**546,174**		**149.7%**	**46.0%**	穀物及び同調製品	MT	171,340	4,861,907	91.8%	110.6%	34.1%
	原皮及び毛皮（未仕上）	MT	1,165	205,020	106.8%	123.5%	17.3%	小麦及びメスリン	MT	11,965	260,147	184.2%	157.0%	1.8%
	木材及びコルク			251,561		160.3%	21.2%	米	MT	20,022	1,495,011	全増	全増	10.5%
	木材			251,561		160.3%	21.2%	大麦及びはだか麦	MT	10,122	216,397	3.9倍	3.2倍	1.5%
	パルプ及び古紙	MT	878	19,889	62.3%	68.5%	1.7%	とうもろこし	MT	112,957	2,535,890	73.5%	70.1%	17.8%
	粗鉱物	MT	3,054	53,758	8.7倍	4.9倍	4.5%	こうりゃん（飼料用）	MT	16,207	350,377	69.9%	66.9%	2.5%
	その他の動植物性原材料			14,831		全増	1.3%	飼料	MT	73,599	3,292,589	102.5%	101.0%	23.1%
	動植物性油脂	**MT**	**20**	**948**	**全増**	**全増**	**0.1%**	植物性油かす	MT	44,284	2,115,246	98.9%	103.3%	14.9%
	化学製品			**118,909**		**158.9%**	**10.0%**	魚介類の粉、ミール及びペレット	MT	610	138,359	36.2%	40.1%	1.0%
	元素及び化合物			100,220		153.5%	8.4%	**原材料**			**1,141,416**		**120.9%**	**8.0%**
	無機化合物	MT	369	100,220	161.1%	153.5%	8.4%	生ゴム	MT	5,519	1,074,634	110.2%	126.5%	7.5%
	肥料	MT	924	4,491	全増	全増	0.4%	天然ゴム	MT	4,260	744,314	100.0%	112.5%	5.2%
	プラスチック	MT	242	8,947	120.4%	93.8%	0.8%	合成ゴム	MT	1,259	330,320	167.6%	175.5%	2.3%
	その他の化学製品	MT	56	5,251	全増	全増	0.4%	**鉱物性燃料**			**8,890**		**62.6%**	**0.1%**
	原料別製品			**393,883**		**73.1%**	**33.2%**	**動植物性油脂**	**MT**	**231**	**32,539**	**105.5%**	**139.8%**	**0.2%**
	ゴム製品	MT	958	393,408	89.1%	74.8%	33.2%	**化学製品**			**1,060,375**		**119.3%**	**7.4%**
	ゴム加工材料	MT	21	12,373	52.5%	55.0%	1.0%	元素及び化合物			662,264		117.9%	4.7%
	ゴムタイヤ及びチューブ	KG	936,937	381,035	90.6%	75.7%	32.1%	有機化合物			289,643		98.9%	2.0%
	機械類及び輸送用機器			**102,905**		**19.4%**	**8.7%**	無機化合物	MT	4,381	372,621	145.4%	138.5%	2.6%
	一般機械			63,919		2.4倍	5.4%	プラスチック	MT	779	115,266	153.3%	164.1%	0.8%
	加熱用・冷却用機器			60,925		2.7倍	5.1%	**原料別製品**			**941,863**		**98.5%**	**6.6%**
	電気機器			28,555		5.8%	2.4%	織物用糸及び繊維製品			179,520		114.0%	1.3%
	輸送用機器			10,431		122.1%	0.9%	非金属鉱物製品			218,581		59.8%	1.5%
	自動車	NO	11	4,762	157.1%	3.9倍	0.4%	ガラス及び同製品			218,120		60.1%	1.5%
	自動車の部分品	KG	43,827	5,459	77.7%	74.5%	0.5%	金属製品			407,609		112.2%	2.9%
	雑製品			**3,804**		**41.7%**	**0.3%**	**機械類及び輸送用機器**			**1,507,091**		**118.0%**	**10.6%**
	その他の雑製品			3,804		41.7%	0.3%	一般機械			63,065		144.8%	0.4%
	プラスチック製品	KG	3,290	3,804	4.4倍	188.9%	0.3%	電気機器			1,124,909		91.3%	7.9%
	特殊取扱品			**12,491**		**58.3%**	**1.1%**	半導体等電子部品			1,124,202		91.9%	7.9%
	再輸出品			12,491		58.3%	1.1%	輸送用機器			319,117		殆全増	2.2%
								航空機類	MT	5	312,948	全増	全増	2.2%
								雑製品			**116,902**		**168.4%**	**0.8%**
								特殊取扱品			**1,043,298**		**殆全増**	**7.3%**
								再輸入品			1,043,298		殆全増	7.3%
川内	**総額**			**324,427**		**86.8%**	**100.0%**	**総額**			**1,447,332**		**82.7%**	**100.0%**
	食料品及び動物			**31,544**		**48.2%**	**9.7%**	**食料品及び動物**			**324,617**		**97.7%**	**22.4%**
	肉類及び同調製品	MT	23	5,032	100.0%	98.8%	1.6%	果実及び野菜	KG	115,195	34,998	99.7%	87.2%	2.4%
	魚介類及び同調製品	MT	8	14,288	1.6%	23.7%	4.4%	飼料	MT	3,753	245,609	152.4%	104.9%	17.0%
	魚介類	MT	8	14,288	1.6%	23.7%	4.4%	魚介類の粉、ミール及びペレット	MT	1,208	162,378	114.1%	83.2%	11.2%
	飼料	MT	17	12,224	全増	全増	3.8%	**原材料**			**69,147**		**2.6倍**	**4.8%**
	配合飼料（ペットフードを含む）	MT	17	12,224	全増	全増	3.8%	粗鉱物	MT	1,284	47,569	2.8倍	3.5倍	3.3%
	原材料			**186,697**		**77.5%**	**57.5%**	粗鉱物（除りん鉱石）	MT	1,284	47,569	2.8倍	3.5倍	3.3%
	木材及びコルク			8,167		78.5%	2.5%	**化学製品**			**98,075**		**198.0%**	**6.8%**
	木材			7,320		70.4%	2.3%	元素及び化合物			50,874		2.6倍	3.5%
	パルプ及び古紙	MT	2,606	120,720	66.4%	52.6%	37.2%	無機化合物	MT	644	30,110	2.0倍	177.7%	2.1%
	金属鉱及びくず	MT	985	55,130	全増	全増	17.0%	その他の化学製品	MT	539	31,767	173.3%	164.6%	2.2%
	（鉄鋼くず）	MT	866	29,185	全増	全増	9.0%	**原料別製品**			**452,880**		**90.7%**	**31.3%**
	化学製品			**41,042**		**3.2倍**	**12.7%**	木製品及びコルク製品（除家具）			367,017		82.2%	25.4%
	プラスチック	MT	595	30,419	3.1倍	3.7倍	9.4%	パルプウッド等	MT	17,829	325,032	99.9%	88.4%	22.5%
	ポリエチレン	MT	80	6,552	3.1倍	2.9倍	2.0%	木製建具及び建築用木工品	KG	165,509	41,127	61.9%	59.8%	2.8%
	その他の化学製品	MT	111	9,877	198.2%	2.5倍	3.0%	金属製品			32,677		4.3倍	2.3%
	原料別製品			**45,982**		**128.9%**	**14.2%**	**機械類及び輸送用機器**			**433,085**		**56.2%**	**29.9%**
	紙類及び同製品	MT	647	45,478	145.4%	127.5%	14.0%	電気機器			352,700		46.6%	24.4%
	紙及び板紙	MT	647	45,478	145.4%	127.5%	14.0%	半導体等電子部品			351,195		46.8%	24.3%
	機械類及び輸送用機器			**18,522**		**102.1%**	**5.7%**	輸送用機器			78,310		7.1倍	5.4%
	一般機械			9,510		全増	2.9%	船舶類	NO	1	69,356	全増	全増	4.8%
	電気機器			5,751		31.7%	1.8%	**雑製品**			**63,954**		**105.7%**	**4.4%**
枕崎	**総額**			**65,585**		**163.5%**	**100.0%**	**総額**			**296,800**		**80.8%**	**100.0%**
	食料品及び動物			**60,891**		**189.1%**	**92.8%**	**食料品及び動物**			**295,861**		**80.5%**	**99.7%**
	魚介類及び同調製品	MT	329	60,891	179.8%	189.1%	92.8%	魚介類及び同調製品	MT	1,710	295,861	74.6%	80.5%	99.7%
	魚介類	MT	329	60,891	179.8%	189.1%	92.8%	魚介類	KG	1,709,612	295,861	74.6%	80.5%	99.7%
	原材料			**2,250**		**全増**	**3.4%**	**特殊取扱品**			**939**		**全増**	**0.3%**
	粗鉱物	MT	100	2,250	全増	全増	3.4%	再輸入品			939		全増	0.3%
	原料別製品			**1,742**		**26.4%**	**2.7%**							
	金属製品			1,742		全増	2.7%							

外国貿易船入港状況表(速報)

[平成29年1月分]

単位：隻

区分		26年	27年	28年	平成29年			
					1月	前年同月比	累計	前年同期比
鹿児島港	日本籍	163	206	220	7	77.8%	7	77.8%
	外国籍	243	231	234	18	85.7%	18	85.7%
	計	406	437	454	25	83.3%	25	83.3%
喜入港	日本籍	24	33	52	2	66.7%	2	66.7%
	外国籍	170	163	159	14	155.6%	14	155.6%
	計	194	196	211	16	133.3%	16	133.3%
志布志港	日本籍	3	8	12	－	－	－	－
	外国籍	695	788	766	66	95.7%	66	95.7%
	計	698	796	778	66	95.7%	66	95.7%
川内港	日本籍	－	1	1	－	－	－	－
	外国籍	182	163	169	15	136.4%	15	136.4%
	計	182	164	170	15	136.4%	15	136.4%
枕崎港	日本籍	2	－	1	－	－	－	－
	外国籍	19	16	15	1	50.0%	1	50.0%
	計	21	16	16	1	50.0%	1	50.0%
計	日本籍	192	248	286	9	75.0%	9	75.0%
	外国籍	1,309	1,361	1,343	114	101.8%	114	101.8%
	計	1,501	1,609	1,629	123	99.2%	123	99.2%

外国貿易機入港状況表(速報)

[平成29年1月分]

単位：機

区分	26年	27年	28年	平成29年			
				1月	前年同月比	累計	前年同期比
鹿児島空港	619	661	812	79	146.3%	79	146.3%

相談料
無料！！

貿　易　相　談　の　ご　案　内

（公社）鹿児島県貿易協会では、県内企業等の海外事業展開を支援するため、貿易実務・関税・金融など専門のアドバイザーによる貿易相談を実施しています。

海外との貿易取引に関する基礎知識、輸出入の諸手続き、交渉の進め方、決済の方法、その他海外との取引に関する様々なご相談に応ずることにしています。

現在、既に海外との貿易を展開中の方、これから海外貿易を検討したいと考えておられる方などお気軽に貿易相談をご活用ください。

○相 談 日：随時
○時　　間：随時
○場　　所：かごしま海外ビジネス支援センター
　　（県産業会館６階）
○相 談 料：無　料
○ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ：貿易実業者、金融機関、通関実務者、
　　商社等からの専門アドバイザーが対応。
○相談方法：センターライブラリーでの個別相談
　　（事前に電話等でご予約ください。）
　　TEL：０９９－２５１－８４８４

～アドバイザーのご紹介～

担　当	アドバイザー	役職名
実　務	弓場　秋信	弓場貿易㈱　代表取締役
通　関	日置　建一	鹿児島海陸運送㈱　谷山営業所　外航グループ
通　関	梅木　洋一郎	㈱共進組　沖縄営業部　台湾営業課　部長
通　関	川上　恵朗	日本通運㈱　志布志支店　支店長
金　融	上園　祐二	㈱南日本銀行　営業統括部　支店支援室　主任調査役
金　融	久保　敏也	㈱鹿児島銀行　営業支援部　国際ビジネス推進室　室長

※なお、FAX、Eメールでも相談に応じますが、相談内容により回答に時間を要する場合もございます。

鹿児島県貿易協会新規入会会員の募集

当協会では、新規に入会していただける会員企業を広く募集しております。
鹿児島県下に事務所や事業所を有し、海外との取引に興味のある企業をご存知でしたら、ぜひ事務局までご紹介くださいますようお願いいたします。

貿易協会概要

鹿児島県下に事業所を持つ貿易業及びこれに関連する事業を営む者並びに関係機関・団体等で構成される公益社団法人です。
会員の相互の連携により、海外ビジネス情報の交換、海外市場の調査、海外取引の斡旋、研究発表などを実施し、海外貿易の促進・振興をはかり、鹿児島の経済発展に寄与することを目的に活動しています。

【設立】：１９５７年２月２２日
【会員数】：１２０社（平成２９年２月１日現在）
【役員】：会長　三反園　訓
　　理事　１９名
　　監事　２名

貿易協会の業務

① **海外取引の斡旋・調査**
　輸出入を希望する海外企業の紹介
② **海外市場開拓の支援**
　見本市参加、商談会開催
③ **貿易相談**
　取引業務や苦情処理など貿易を巡る諸相談
④ **貿易講演会等の開催**
　海外市場等に関するセミナーや講演会
⑤ **貿易刊行物の発行・頒布**
　貿易ニュース鹿児島、トレードダイレクトリー鹿児島
⑥ **インターネットを活用した情報発信**
　ホームページ、メーリングリスト
⑦ **かごしま海外ビジネス支援センターの運営**
　県内企業・個人に対する海外ビジネスの支援

入会金と会費

【入会金】個人 3,000 円（2 種会員）
　　団体 3,000 円（1 種・2 種・3 種会員共通）
【会費】1 種会員費・・・・団体 30,000 円（年額）
　　2 種会員費・・・・個人 24,000 円（年額）
　　団体 24,000 円（年額）
　　3 種会員費・・・・団体 50,000 円（1 口あたり/年額）
※1 種会員とは外国航路船舶会社、通関業者、金融機関、役員所属企業など。
※3 種会員とは地方公共団体、商工会議所、商工会の団体。

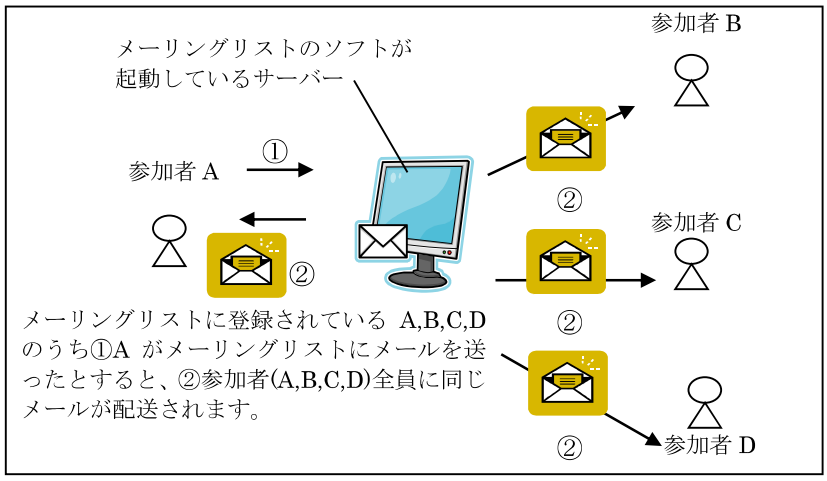
アイエス通訳システムズ

翻訳・通訳サービスを承ります。（貿易協会会員は特別割引があります。）
海外への手紙、契約書の翻訳や通訳についてお気軽にお問合せ下さい。

★翻訳基本料金

((基準翻訳料金表))				
日本語→外国語		言語	外国語→日本語	
貿易協会会員	一般		貿易協会会員	一般
¥5,400～	¥6,000～ (400 字/１項)	英語	¥3,600～	¥4,000～ (400 字/1 頁)
¥5,400～	¥6,000～ (400 字/１項)	韓国語	¥3,600～	¥4,000～ (400 字/1 頁)
¥5,400～	¥6,000～ (400 字/１項)	中国語	¥3,600～	¥4,000～ (400 字/1 頁)
¥5,850～	¥6,500～ (400 字/１項)	その他	¥4,500～	¥5,000～ (400 字/1 頁)

＊＊この他、通訳業務も行っています＊＊
詳しくは、下記へお問い合わせください。
〒892-0824　鹿児島市堀江町 19-6　協栄ビル 2F　TEL：099-227-5173　FAX：099-227-2767

《メーリングリストのお知らせ》

当協会では、貿易情報を迅速に提供・交換するためインターネットを使ったメーリングリスト（以下「ML」という）を開設しています。
ML とは、リストに参加している全員に同一のメールを同時に一斉配信するインターネットの機能です。
貿易協会からは、貿易相談の案内やセミナー・イベントなどの最新情報等を随時発信しているほか、参加企業・団体からのイベントなどの情報発信も行われています。
参加登録は随時受け付けております。関心のある方は事務局までご連絡ください。